株式会社ニチレイの新中期経営計画「Compass×Growth 2027」が知財・無形資産戦略に与える影響

〜収益力強化と資本効率向上を目指して〜　　Gemini Deep Research解析

2025年度〜2027年度

新中期経営計画「Compass×Growth 2027」の概要

計画基本情報

期間： 2025年度～2027年度（3ヵ年）

中核目標：

- 収益力の強化
- 資本効率の向上

3つの主要戦略

- 競争優位領域の深掘とグループシナジーの発揮
- 地域別戦略にもとづく海外事業拡大
- 人的資本経営の推進とグローバルガバナンス等の構築

主要数値目標

ROIC目標（2028年3月期）

8% 以上

サステナビリティ目標

CO_2排出量削減
↓27%
(2025年3月期比・Scope 1+2)

再生可能エネルギー率
53%
(2028年3月期目標)

環境投資：3ヵ年累計 **137億円**

3つの主要戦略

1 競争優位領域の深掘とグループシナジーの発揮

- チキン加工品・米飯類への集中投資
- 冷凍食品物流プラットフォーム強化
- 加工食品事業と水産・畜産事業の統合
- 調達・販売機能の体制構築加速

> 無形資産への影響： ブランド力、技術、顧客データ等の統合による新価値創出

2 地域別戦略にもとづく海外事業拡大

- 欧州市場での事業基盤強化
- ASEANでのビジネス展開加速
- 北米市場での戦略的展開
- M&Aを含むインオーガニック成長追求

> 無形資産への影響： グローバルIP保護体制構築、技術の現地適応、M&Aによる無形資産獲得

3 人的資本経営の推進とグローバルガバナンス構築

- 人財の確保・育成強化
- 従業員エンゲージメント向上
- グローバルジョブグレーディング導入
- 地域統括会社の設置検討

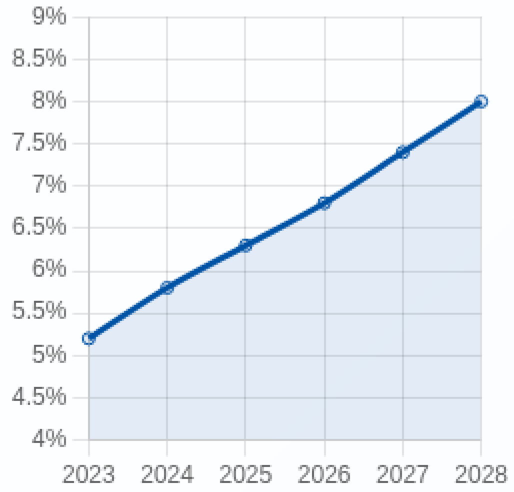
> 無形資産への影響： 組織能力強化、グローバル人材育成、無形資産マネジメント高度化

「Compass×Growth 2027」の数値目標と資本効率

主要財務目標

8%以上

ROIC（投下資本利益率）
2028年3月期目標



◎資本効率向上への取り組み

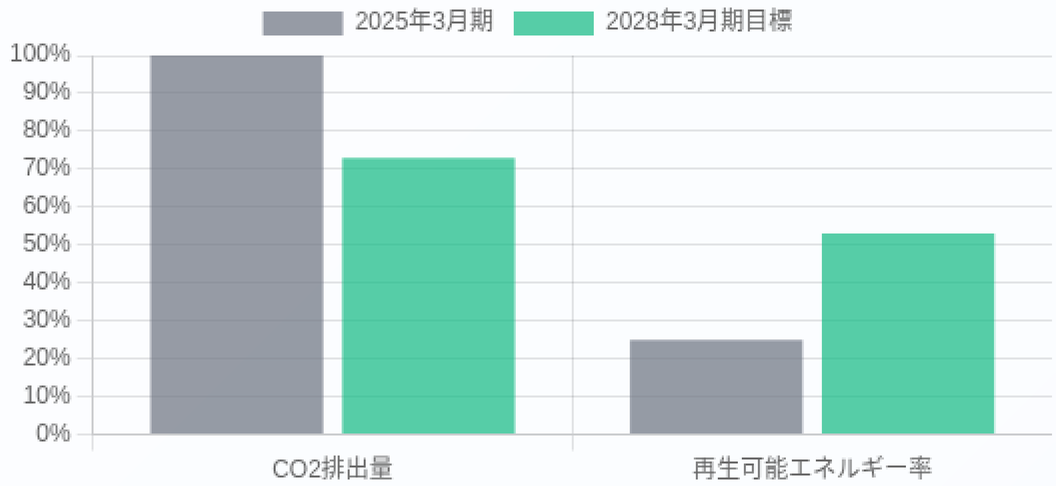
- 収益力の強化と資本効率の向上を中核目標
- 付加価値の高い製品開発を通じた利益率向上

サステナビリティ目標

137億円
環境投資
3カ年累計

▲27%
CO2排出量削減
(Scope 1+2, 2025年比)

53%
再生可能エネルギー率
2028年3月期目標



戦略的投資と無形資産創出

- DXおよびAI技術導入による業務効率化と意思決定高度化
- 研究開発投資による商品イノベーションと技術的優位性確保
- M&Aを活用した無形資産（技術・ブランド・人材）の獲得

知財・無形資産戦略への影響

戦略的変革の方向性

現在の無形資産戦略

- 支援的・リスク軽減的役割
- 国内市場中心
- 知的財産の基本的保護
- 各部門での個別最適化

→

将来の無形資産戦略

- 積極的価値創造型へ進化
- グローバルに統合された戦略
- 戦略的活用と収益貢献
- グループシナジーの発揮

新中期経営計画による主要な影響

ROIC視点による無形資産管理の高度化
投資効率と価値創出の可視化が必須に

グローバル知財戦略の構築
各地域特性に応じたIP保護・活用体制の確立

M&Aによる無形資産の獲得・統合
技術・ノウハウ・顧客基盤の戦略的獲得

強化が求められる無形資産カテゴリー

将来シナリオ

戦略的強化と積極的防御
堅実型

既存の無形資産の最適化と効率的活用に重点

- 国内主力製品のIP保護強化
- 体系的な特許マップ構築
- 社内IP教育の充実
- オペレーション効率向上

ROIC貢献: 安定収益と効率化によるROIC改善

積極的な価値創造とグローバルIP攻勢
成長型

革新的技術開発とグローバル展開を推進

- 戦略的なM&Aによる知財獲得
- グローバル権利化戦略の構築
- 攻めの特許ポートフォリオ形成
- ライセンス収益の創出

ROIC貢献: 高収益ビジネスモデル構築

サステナビリティとレピュテーション変革
持続型

ESG価値を核とした技術・ブランド戦略

- 環境技術の特許取得加速
- サステナブル・ブランディング
- ESG情報開示の高度化
- 社会課題解決型無形資産創出

ROIC貢献: 長期的企業価値向上と新市場開拓

シナリオ別 期待効果比較

結論とアクションプラン

成功の鍵は無形資産の戦略的活用

「Compass×Growth 2027」の成功は、ニチレイが**多岐にわたる無形資産を戦略的に管理・開発・活用する能力**に本質的に左右される。従来の支援的・リスク軽減的役割から、**より積極的で価値駆動型、かつグローバルに統合された戦略**へと進化することが求められている。

無形資産戦略 実行ロードマップ

短期（2025年度）

- 無形資産マネジメント体制の構築
- 国内外特許・商標の棚卸しと価値評価
- 知財・無形資産戦略コミッティの設置

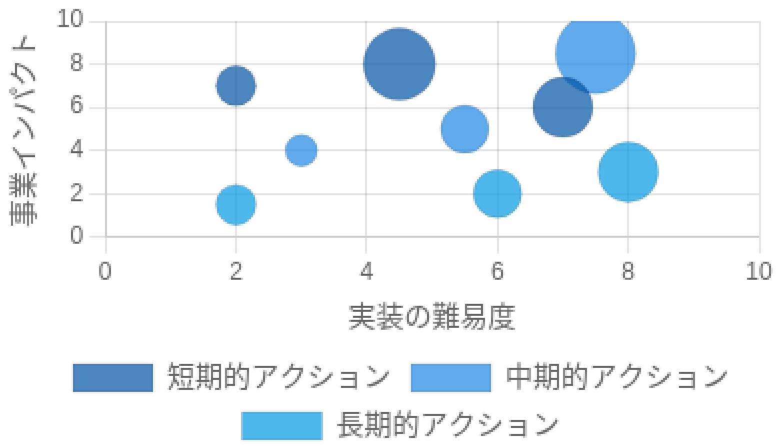
中期（2026年度）

- グローバルIP保護体制の強化
- DX推進による無形データ資産の活用促進
- 事業部門横断型無形資産シナジー創出

長期（2027年度～）

- 無形資産の財務的価値の最大化
- ESG連動型ブランド戦略の展開
- 海外事業拡大のための戦略的IP投資

アクション優先順位



体制構築

無形資産マネジメント専門組織の設置と統合的な評価・管理体制の確立

グローバル展開

地域別特性を考慮した無形資産戦略とM&Aによる積極的な権利獲得

価値創造

無形資産を活用した新たな収益モデル構築とROIC向上への貢献度強化